

むきぼんだ花だより 4月

弥生の森のコクラン(黒蘭)を見ようと
遊歩道から林に足を踏み入れると、
そこはスミレ、スミレ、スミレ...
どこに足を置いても
スミレを踏んでしまっていました。



「うか」と入い踏みどころなすみれ野」

もと

すみれを飲んだ俳句でよく知られているものは
山路来て何やらゆかしすみれ草 松屋芭蕉
蓋程な小さき人に生まれたし 夏目漱石
かたまって薄き光の暈かな 渡辺水巴
などです。

スミレは種類がとんでも多く、名前を区別するには細かい観察が必要ですが。芭蕉や漱石が見たのは何種でしょうか。

4月20日

松本素子



昨年の「むきぼんだ日和 草木染め体験」で
オオバヤシヤブシで染められた作品



段差がなく
左右の植物の観察が
し易くなりました。

★むきぼんだを歩く会★

- 指導： 篤見真幸先生（鳥取県自然観察指導員）
- 毎月第1土曜日午前9時30分～正午
- 入会金 2000円 毎回資料代 300円 いつでも、どなたでも入会可能です
- 問い合わせ： むきぼんだ応援団「むきぼんだをあるく会」